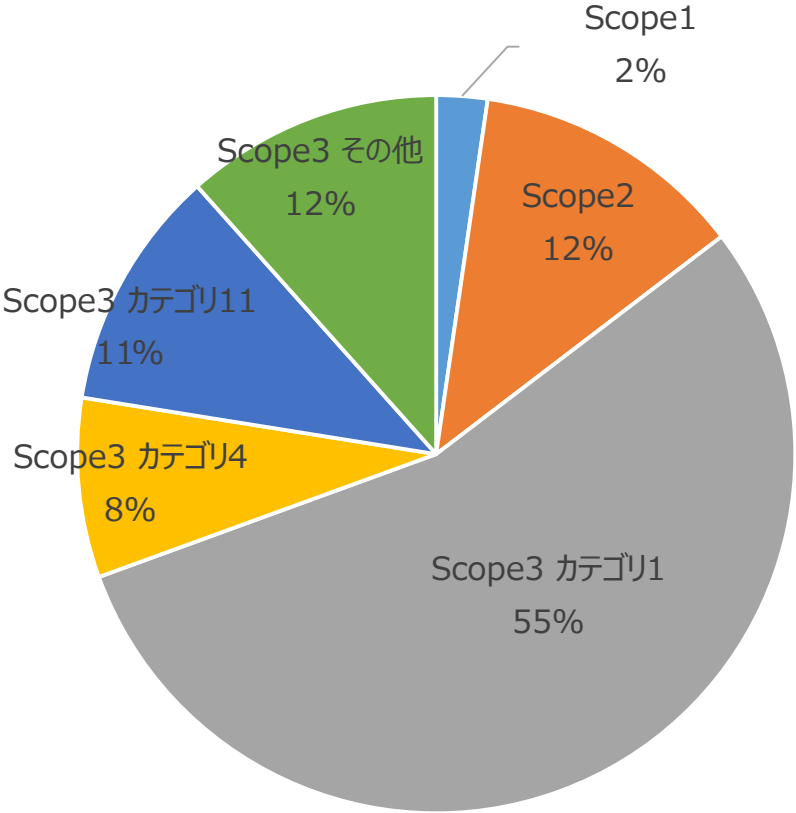


株式会社ニコン

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"> ● 業種：製造業（精密機器） ● 事業概要：光学機械器具の製造、ならびに販売 ● 事業規模[任意]：売上収益 連結 708,660 百万円 従業員数 連結 20,917 名
2.削減目標案	<p>＜<u>Scope 1・2 の削減目標と削減に向けた取り組み</u>＞</p> <p>削減目標：2030年度までに2013年度比で26%削減</p> <p>取り組み：生産・開発工程の効率化（既存設備の見直しと高効率機器の導入、プロセスのIT化）、高GWP化学物質の使用量削減、再生可能エネルギーの活用、グリーンエネルギー証書の導入など</p> <p>＜<u>Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み</u>＞</p> <p>削減目標：2030年度までにカテゴリ 1、4、1 1 を対象に2013年度比で31%削減</p> <p>取り組み：製品の低炭素化や輸送の効率化、調達パートナーへの働きかけなど</p>

株式会社ニコン

項目	内容	
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : 4万[tCO₂]
	 <p>Detailed description of the pie chart: The chart is divided into six segments. The largest segment is 'Scope3 カテゴリ1' at 55% (grey). Other segments include 'Scope3 カテゴリ4' at 8% (yellow), 'Scope3 カテゴリ11' at 11% (blue), 'Scope3 その他' at 12% (green), 'Scope2' at 12% (orange), and 'Scope1' at 2% (light blue). A thin white line separates the 'Scope1' and 'Scope2' segments.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : 22万[tCO₂]
		<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 : 152万[tCO₂] 目標の対象セクター : カテゴリ1、カテゴリ4、カテゴリ11

株式会社ニコン

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<p>【移行リスク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 炭素税など、制度・規制がさらに新設・強化されるリスクがある。 <p>【物理的リスク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動に起因する自然災害により、ニコングループの拠点や調達先が被災するリスクがある。 ● 平均気温上昇により、空調の温度制御が難しくなり、精密機器の製造や、製品の稼働に影響が出るリスクがある。 <p>【機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 当グループの測定技術や制御技術は、産業ロボットやエコファクトリー、スマートファクトリーに活用でき、ビジネスチャンスとなる。
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"> ● 国際イニシアチブによる検証・認定により、ニコングループの目標が「2℃目標」に対し科学的に妥当であることを確認できる。 ● ステークホルダー（顧客や投資家、評価機関など）に対し、気候変動に対するニコングループの姿勢をアピールできる。

株式会社ニコン

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● 既に設定していた環境中期目標をベースに環境部門、CSR部門にて検討。環境委員会で審議・決定。経営委員会メンバーで構成されるCSR委員会に報告。● 目標の削減率と実現可能性については、社会的に要請されている「2℃目標に合致する削減率」を理解したうえで、これまでの施策と今後の施策を総合的に考慮し試算、議論を重ねた。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● 生産・開発工程の効率化、再生可能エネルギーの調達● サプライヤーへの目標設定と削減施策の実施の要請、および進捗確認● 製品の設計開発における環境配慮